## わたしと図書館

富田文歌

思えば、私と西東京市図書館との本格的な(?)お付き合いは、子どもの本から始まった。子どもに読んで聞かせるためではなく、ストーリーテリング(すばなし)を行うための本を求めてである。

私が語りの会に足を踏み入れたのは、長男が三歳ごろのことだ。それまで、本は好きで読んではいたが、お話を覚えて語ることになろうなどと思ったことも なかった。だから、本選び、お話選びは試行錯誤の連続。語ってみては冷や汗の連続。それは今も変わることがないのだが、大きく広がるお話の世界は私をとらえて離さない。

入ってみると、その世界は懐かしい世界でもあった。子どものころに触れたグリム童話や日本の昔話は、姿を変えることなく私を迎え入れてくれた。そしてその奥にある、数限りない昔話たち。それだけでも、私にはとても把握しきれないのに、そこに作り手の顔がはっきり見える創作のお話が加わると、もうお手上げである。その世界に身を委ねるしかない。

そんなお話の魅力って何だろうと考えると、「おもしろい」の一言に尽きる。子どものしつけや教育のために、などともったいぶると、その楽しさは輝きを失う。ひたすらに異次元を主人公とともに旅し、現実に戻ってくる。子どものころにそうやって体験した楽しさは、その後の人生を楽しく過ごすための一つの糧になってくれると、私は信じている。

語り用の本から入った私が、今はまりつつあるのが児童書である。子どものころ読めなかった本たちが、図書館に行くと私を手招きするのだ。これがおもしろい。睡眠不足必至である。児童書は子どもの姿そのものだ。いろいろな顔つきをしているが、その中は未来への希望で満ちている。私はそこからパワーを分けてもらうのだ。

今長男は小学二年生。図鑑やマンガが大好きだ。本は、もうすぐ児童書入門というところか。さて、この長男に、どんな本を手渡していこうか。そんなことも思いつつ、図書館の棚で本を物色する。私の、今の人生の楽しみ方である。

## リニューアル後のホームページ

昨年六月にホームページをリニューアルしましたので、主な変更点を紹介します。ホームページをご覧になりながら、お読みください。

**ひらがな表記の「こどものページ」を設けました。**

主に小学生を対象としたページです。図書館にある本や雑誌を検索したり、図書館の利用方法やおはなし会の開催曜日を知ったりすることができます。『ドキドキわくわく』や『CATCH』などの図書館の発行物もPDF版で見ることができます。トップページの左上にくまの絵のボタンがあります。

**各サービスの主催事業等を紹介するコーナーを設けました。**

トップページ中央部のお知らせの下にある図書館より、成人サービス、児童サービス、ハンディキャップの各ボタンをクリックしてください。各サービス担当からの様々な案内を見ることができます。

**行事案内のコーナーを設けました。**

おはなし会の日程を知りたい時は、トップページ右側のフレームの上にある行事案内の下のおはなし会ボタン、それ以外の行事の実施状況を知りたい時は、その他の催しボタンをクリックしてください。

**雑誌とCDの分野別検索ができるようになりました。**

所蔵雑誌については、タイトル・分野・キーワードの三つの手がかりから検索できます。トップページ中央部の本をさがすの下にある新聞・雑誌一覧ボタンをクリックしてから、雑誌一覧ボタンを選んでください。タイトルから検索する場合は、「あ」をクリックすると、「あ」から始まる所蔵雑誌の一覧が表示されます。

所蔵CDの検索は、本をさがすの下にある資料検索ボタンをクリックし、「CDのジャンル別検索はこちらから」を選んでください。ジャンル別検索もできます。

**休館日を知りたいとき**

休館日を知りたいときは、トップページ左側のフレームにある図書館ガイドの下の休館日ボタンをクリックしてください。カレンダー、または一覧で、館ごとに当月と翌月の休館日を確認できます。

## 編集後記

インターネットで予約し、カウンターでその本を受け取り、そのまま帰路へ…という方も増えています。便利になった反面、利用者と本との偶然の出会いが減っているのではないかと思います。今日は、お帰りになる前にゆっくり館内をご覧になってみてはいかがでしょうか。ふと見上げた書棚に、あなたを待っている本があるかもしれません。



R70 古紙配合率70%の再生紙を使用しています